

症例：体腔液（胸水）

大分大学附属病院 病理診断科病理部
河野 友美

症 例

患 者：30歳代 男性

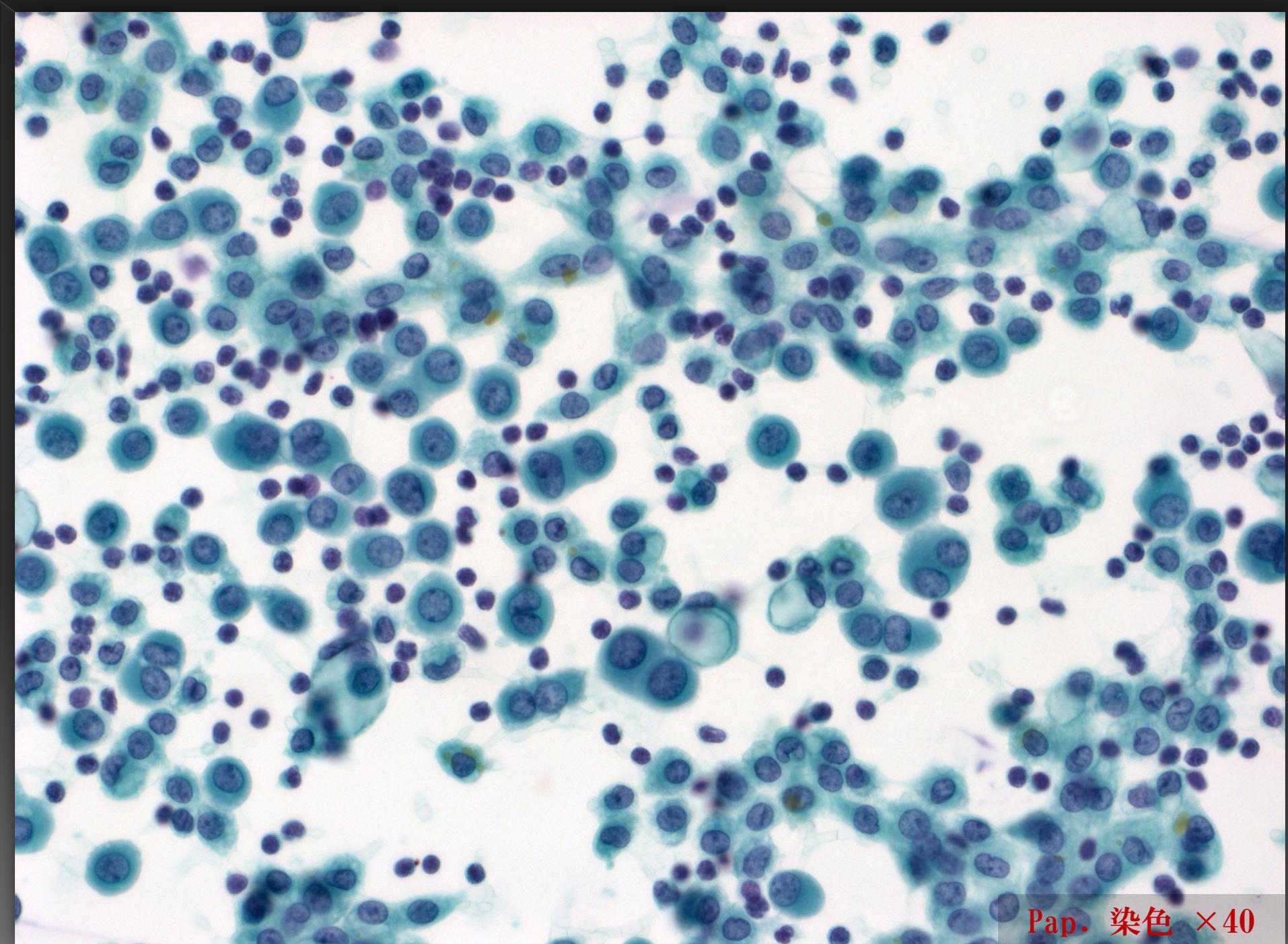
検査材料：胸水

採取法：穿刺吸引

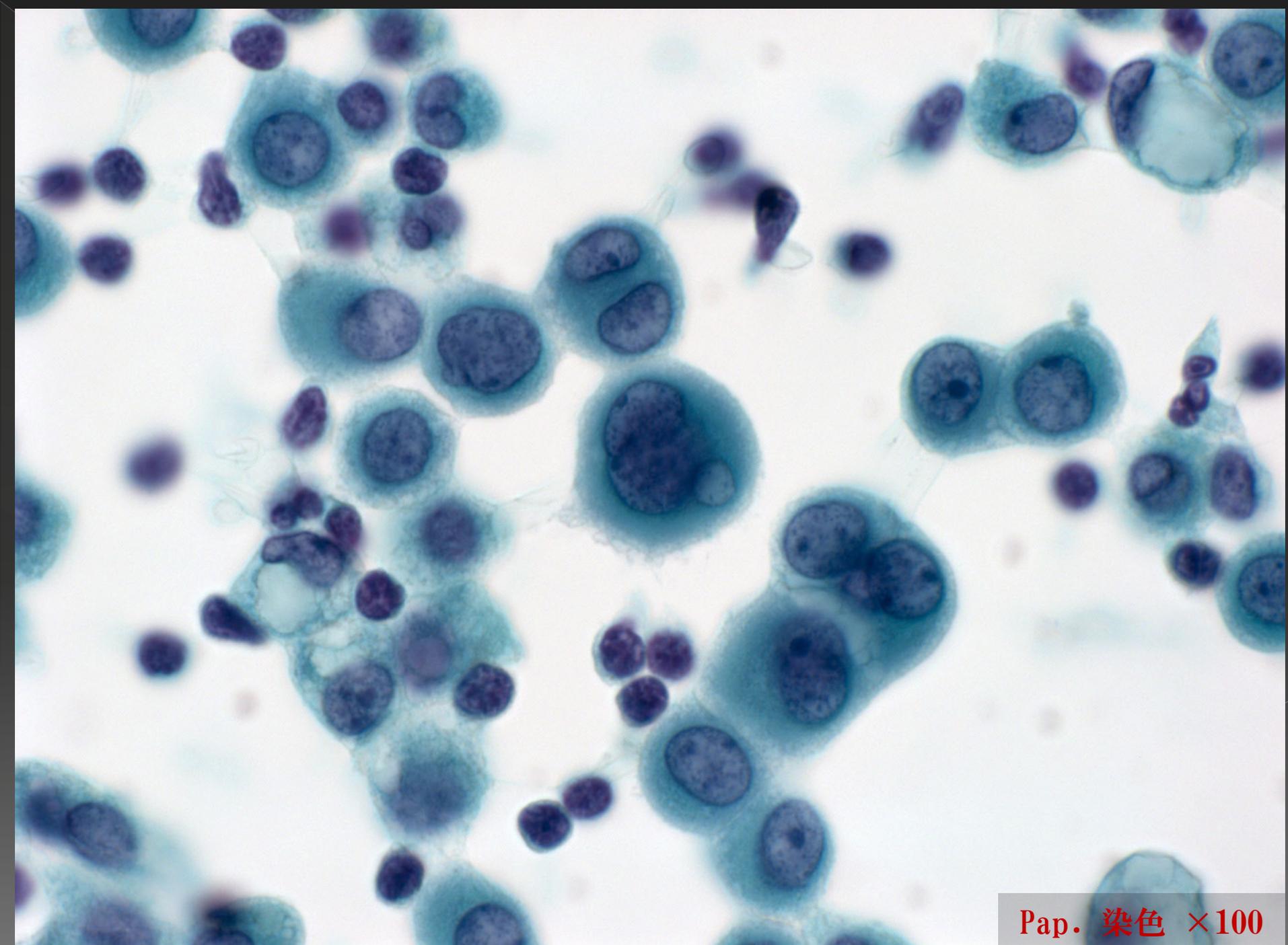
現病歴：半年前より発熱が持続するため精査入院。

右胸水増加を認め、悪性疾患（悪性リンパ腫，肺癌など）が疑われたため，細胞診検査（胸水穿刺）が施行された。

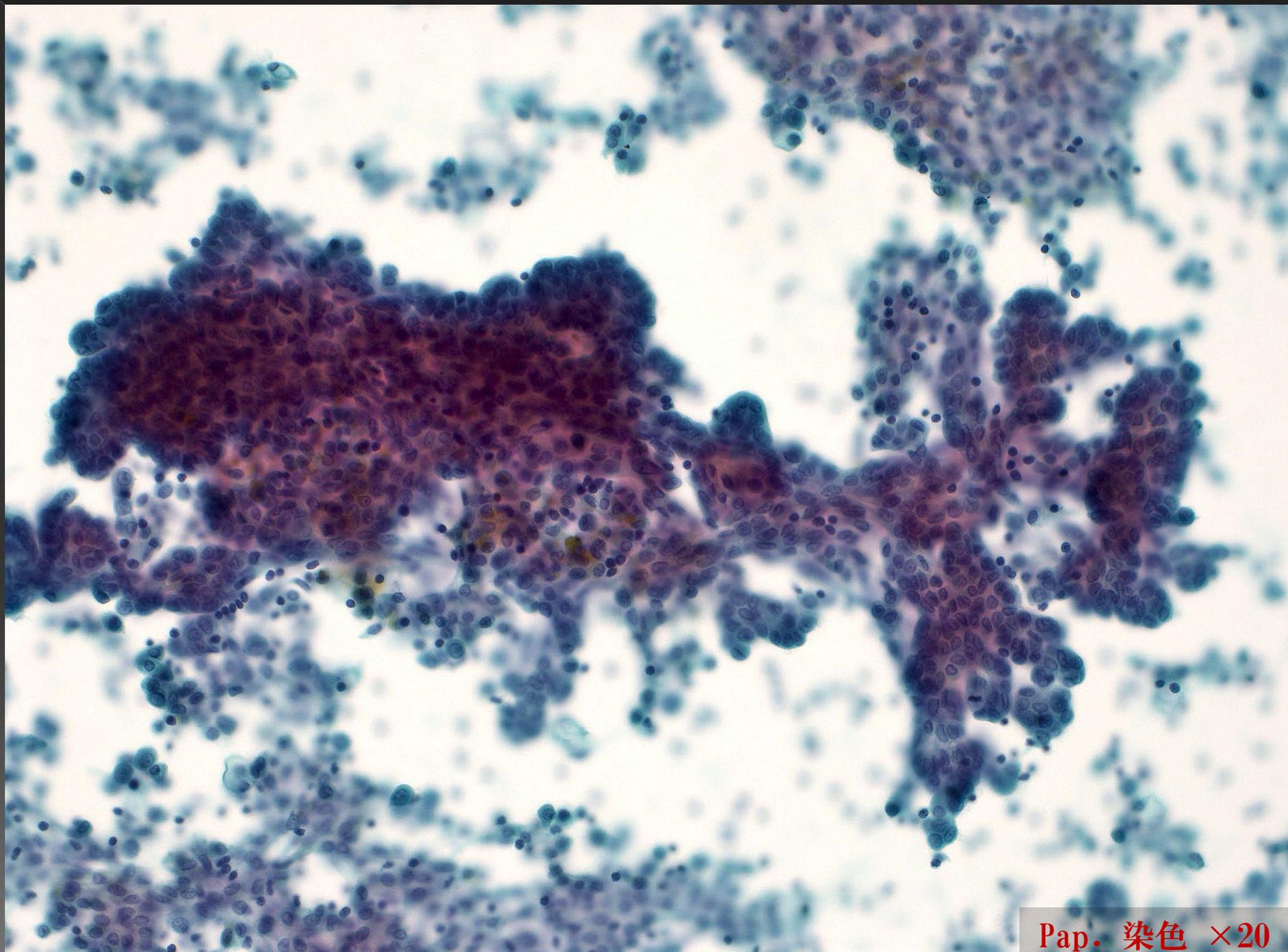
既往歴：10年前に難治性再発性セミノーマに対し自己末梢幹細胞輸血，超大量化学療法，左全肺照射が施行された。左肺は放射線治療により荒蕪肺となった。



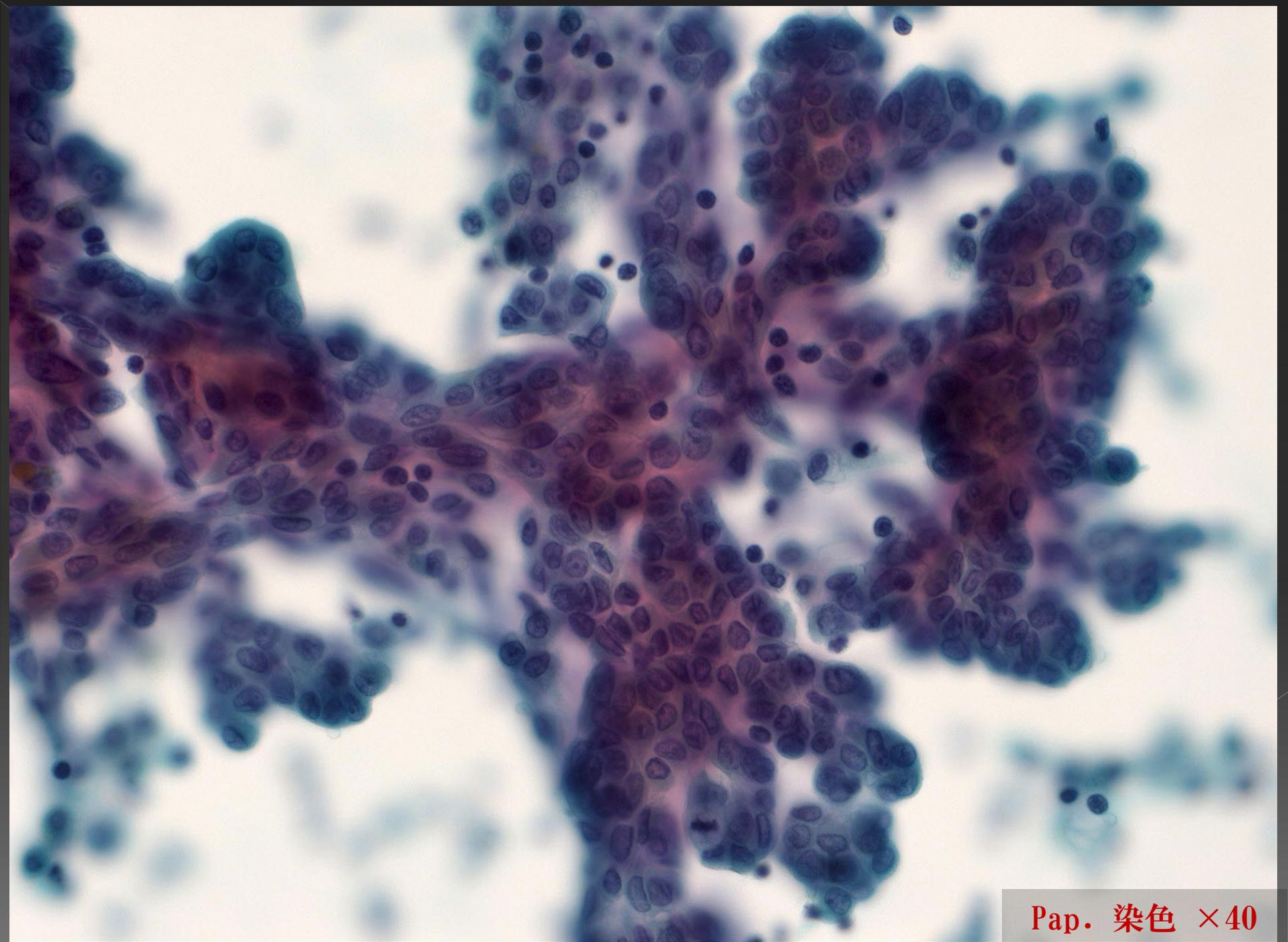
Pap. 染色 ×40



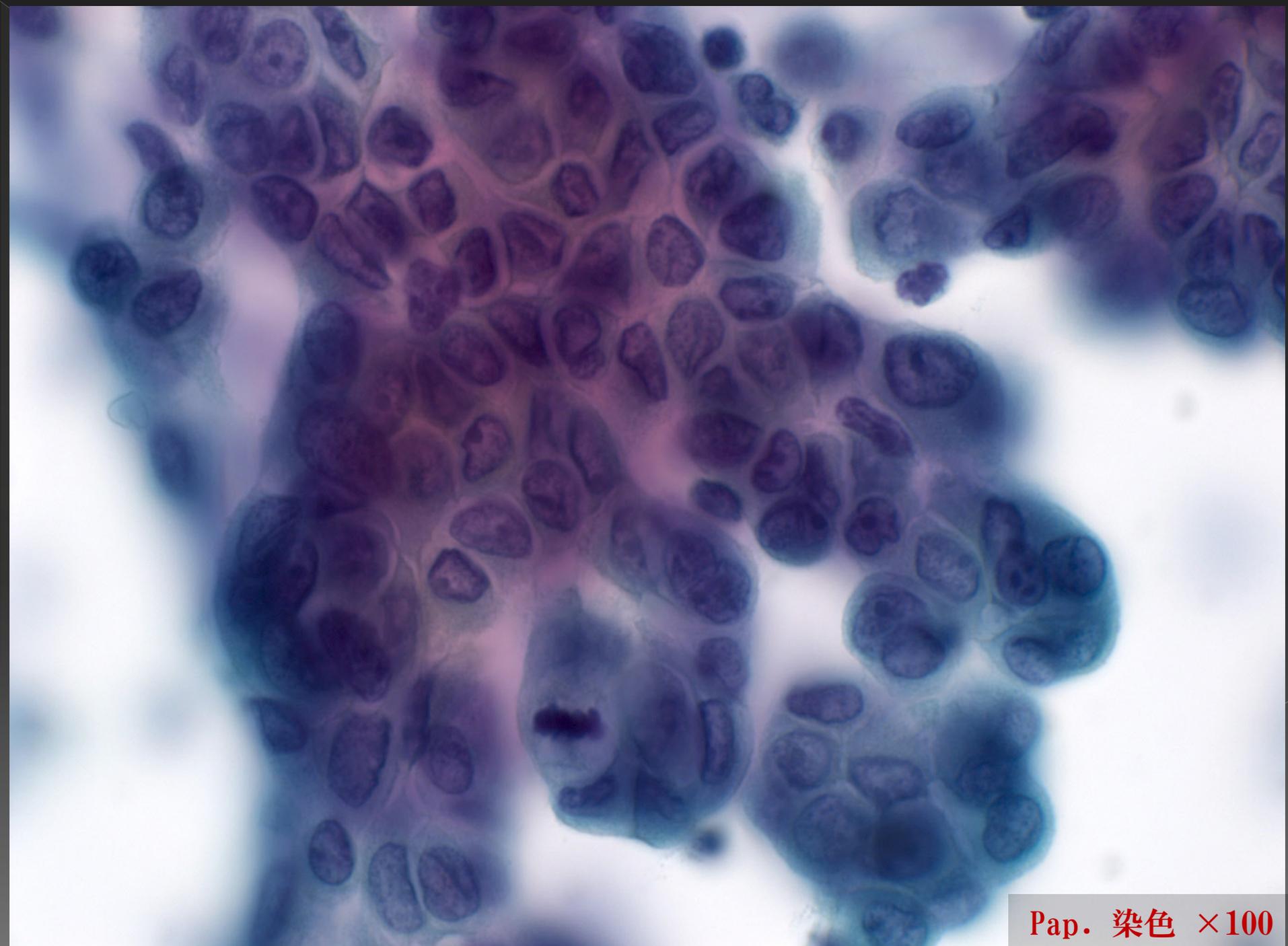
Pap. 染色 ×100



Pap. 染色 ×20



Pap. 染色 ×40



Pap. 染色 ×100